



溶接技術・技能伝承を担う高度な指導者を養成する人材育成研修

溶接技術は、部材同士を接合し、船舶、橋梁、工業用プラントなどの様々な構造物を作り上げる技術であり、あらゆる製造業において、必要不可欠な基盤技術です。造船業や機械工業などをはじめとする重工業の発展に大きく貢献しておりますが、近年では、自動車やエレクトロニクス、航空宇宙産業、エネルギー産業などの先端成長産業分野において、レーザーなどの高エネルギービーム溶接技術の発展により、高度な溶接技術の開発も行われています。

現在までの技能の伝承の形態としては、45歳以上の知識・技量共に有していたベテラン技能者が日常業務を通して伝授してきました。しかし、九州地区においてこの10年間で45歳以上の熟練技能者が大幅に減少し、今後も確実に減少することから、倍増しつつある30歳台への技能の伝承が益々困難な状況が予測されます。

そこで、これまで維持してきた世界に通用する九州地域での溶接技術を維持するため、「溶接」の技術・技能伝承と、技術力向上及び若手の人材確保のため、「溶接」の基本であるアーク手溶接及び半自動溶接に関して、その指導者を育成するための講座を開講します。

一定基準を満たした受講生には修了証を授与します。



- 募集定員：20名（アーク手溶接：10名程度、半自動溶接：10名程度）
- 受講対象者：JIS溶接技能者の「板の基本級（下向溶接:F）」の有資格者又は同等レベルの技量を有する者

ぜひ、この機会をご活用ください！

～平成22年度のアンケートから～

溶接する場合の予熱・後熱の必要性、温度の管理等、いろいろと勉強になった。

今までは歪みの問題などあまり考えていなかったが、溶接する順番などを考えられるようになった。

完全とはいえないが、(自分がやっている)新入社員教育に資料も話も役に立つと思う。

自分が全く知らないことばかりだったので勉強になった。

理屈で分かっていても言葉で説明するのは難しいが、先生方の経験や知識、資料などで具体的に教えてもらったことが今後の仕事に生かせそうです。

座学でもやさしく教えてもらった。実務、指導のやり方を教えてもらった。

あまり理解していなかった知識を勉強できた。今、不良品が問題になっているので不良の対策に役立つ。

理屈で分かっていても言葉で説明するのは難しいが、先生方の経験や知識、資料などで具体的に教えてもらったことが今後の仕事に生かせそうです。

部下を指導する上での知識を習得できたので良かった。今後の仕事の幅が広がったと思う。

溶接の知識があまりなく、(これまでは)指導がうまくできなかったが、少しはできるようになった。

説明の仕方、指導のやり方、ポイント など ためになった。



受講料 無料!

スケジュール

| 開催時期 | テーマ | 講師 | 場所 |
|----------------------------|-----------------------------------|---|-------------|
| 5/14(土) 13:30 ～16:10 | 1. 鉄鋼材料の基礎 | 座学 九州工業大学工学研究院 山口富子氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 2. 鉄鋼材料の熱処理 | | |
| 5/21(土) 13:30 ～15:40 | 3. 溶接構造用材 | 座学 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 中村憲和氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 4. 溶接熱影響部の材質変化 | | |
| 5/28(土) 13:30 ～16:50 | 5. 材料力学の基礎 | 座学 九州工業大学工学研究院 恵良秀則氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 6. 静的強度 | | |
| | 7. 脆性破壊 | | |
| 6/4(土) 13:30 ～16:30 | 8. 金属顕微鏡観察の実習 | 実習 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 小川俊文氏、阪本尚孝氏、 小野本達郎氏、島田雅博氏、 阿部幸佑氏 | 機械電子 研究所 |
| 6/11(土) 13:30 ～16:30 | 9. 各種試験機の実習 (引張、衝撃、疲労、硬さ) | 実習 | |
| | | | |
| 6/18(土) 13:30 ～16:50 | 10. 疲労強度 | 座学 九州工業大学工学研究院 秋山哲也氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 11. 溶接残留応力と変形 | | |
| | 12. 溶接変形の防止対策 | | |
| 6/25(土) 13:30 ～16:50 | 13. 溶接欠陥と溶接性 | 座学 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 和田洋二氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 14. 溶接割れとその防止方法 | | |
| | 15. 溶接材料の選び方と使い方 | | |
| 7/2(土) 13:30 ～16:50 | 16. 溶接法とその分類 | 座学 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 西尾一政氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 17. アーク溶接の基礎 | | |
| | 18. 半自動溶接の基礎 | | |
| 7/9(土) 13:30 ～15:40 | 19. 安全・衛生 | 座学 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 吉本辰也氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 20. 溶接部の非破壊検査 | | |
| 7/16(土) 13:30～16:30 | | 溶接 実習 EMシーテック(株) 山田哲彦氏 (株)サンキュウサーチアンド・クリエイト 小林秀稔氏 (株)高田工業所 古川誠喜氏 山九プラントテクノ(株) 瀧徳生氏 横沢正博氏 | 溶接協会 |
| 7/23(土) | 21. 溶接作業の実習 1 (中板：V, H) | | |
| 7/30(土) | | | |
| 8/6(土) 13:30 ～16:50 | 22. 溶接施工計画 | 座学 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 安西敏雄氏 | 九工大 (戸畑) |
| | 23. 溶接施工管理 | | |
| | 24. 溶接欠陥の防止と補修 | | |
| 8/27(土) 13:30～16:30 | | 溶接 実習 EMシーテック(株) 山田哲彦氏 (株)サンキュウサーチアンド・クリエイト 小林秀稔氏 (株)高田工業所 古川誠喜氏 山九プラントテクノ(株) 瀧徳生氏 横沢正博氏 | 溶接協会 |
| 9/3(土) | 25. 溶接作業の実習 2 (中板：H, O) | | |
| 9/10(土) | | | |
| 9/17(土) 13:30 ～16:30 | 26. 溶接部の評価実習 (溶接試験片の外観評価) | 実習 九州工業大学 西尾氏、和田氏、安西氏、山口 氏、吉本氏 機械電子研究所 中村氏、小川氏 | 溶接協会 |
| | (x線試験結果の評価) | | |
| 10/1(土) 13:30 ～16:30 | 26. 溶接部の評価実習 (溶接試験片の曲げ試験結果の評価) | 実習 九州工業大学 西尾氏、恵良氏、和田氏、安西 氏、吉本氏、山口氏、秋山氏 機械電子研究所 中村氏、小川氏 | 溶接協会 |

申込期限：4月22日(金)

実施機関 財団法人飯塚研究開発機構

※本事業(平成22年度ものづくり分野の人材育成・確保事業【第2次募集】)は全国中小企業団体中央会の補助を受けて実施しています。

※裏面の申込書にてFAXもしくはEメールでお申込みください。

※開催場所は裏面をご参照ください。



【 申 込 書 】

(溶接技術・技能伝承を担う高度な指導者を養成する人材育成研修)
 (財)飯塚研究開発機構 研究開発部 (担当: 相緒、村田) 行
 (FAX 0948-21-2150 、 E-mail: murata@cird.or.jp)

申込期限: 4月22日(金) (受講者には、資格・経験に基づき選考後、通知します。)

- * 申込みは原則として、全日程受講可能な方に限ります。
- * ご連絡なき欠席の場合、今後のご参加をご遠慮していただくこともございます。
- * 応募資格は求職者または中小企業基本法に基づく中小企業の従業員の方とします。

| | | | | |
|--|--------------------------|---|--------------------|---|
| 申込年月日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |
| 会社名 (求職者の場合は不要) | ふりがな 会社名 | | | |
| 受講申込者 | ふりがな 氏名 | | 所属・役職 | |
| | 所在地 | | | |
| | TEL | | FAX | |
| | E-MAIL | | | |
| 応募コース (どちらかお選び下さい) | アーク手溶接 | | 半自動溶接 | |
| 最終学歴 | () 記入例: 工業高校、大学(工学部)、高専 | | | |
| これまでに取得された資格をお書き下さい。(※選考する際の参考とさせていただきますので、できるだけ詳しくご記入ください) | | | | |
| JIS溶接技能者資格の種類(種別記号): | | | その他の取得資格(非破壊検査など): | |

| | | | | |
|--------------------------------------|------------|--|-------|--|
| 窓口ご担当 ※求職者及び研修生ご自身の場合は記入不要です。 | ふりがな 氏名 | | 所属・役職 | |
| | 所在地 | | | |
| | TEL | | FAX | |
| | E-MAIL | | | |

《参加申込前のご承諾事項について》

- ① 受講後、アンケートを行います(受講生ご本人様、所属企業様のそれぞれにご回答いただきます)。ご協力をお願いします。
- ② 本講座では、受講生及び派遣元所属との連絡を確実にし、円滑な講座運営を目指しています。このため、受講生及び派遣元所属の窓口ご担当者の連絡先はもれなくご記入下さい。ご提供いただいた連絡先情報は、本講座の実施のためにのみ利用いたします。
- ③ 本講座は、全国中小企業団体中央会補助事業のため、受講生の所属名のみ原則公開されます。

※《申込み・問い合わせ》
 財団法人飯塚研究開発機構 研究開発部 〒820-8517 福岡県飯塚市川津680番地41 (担当: 相緒、村田)
 TEL: 0948-21-1156 FAX: 0948-21-2150 E-mail: murata@cird.or.jp HP: http://www.cird.or.jp/

会場案内

